

浜松市社会教育委員の設置根拠、職務等

1 設置根拠

《社会教育法》

(社会教育委員の設置)

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

《浜松市社会教育委員条例》

(委員)

第2条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

第3条 委員の定数は10人以内とし、その任期は2年※とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

《浜松市社会教育委員条例施行規則》

(委員会)

第2条 社会教育委員は、その職務を行うにつき必要な事項を協議するため、社会教育委員会(以下「委員会」という。)を構成する。

(委員長及び副委員長)

第3条 委員会に委員長及び副委員長それぞれ1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

※委員の任期は、「附属機関の設置及び運営マニュアル」により「2任期又は4年を限度」と規定されています。

2 職務等

《社会教育法》

(社会教育委員の職務)

第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、左の職務を行う。

- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- 二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
- 三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

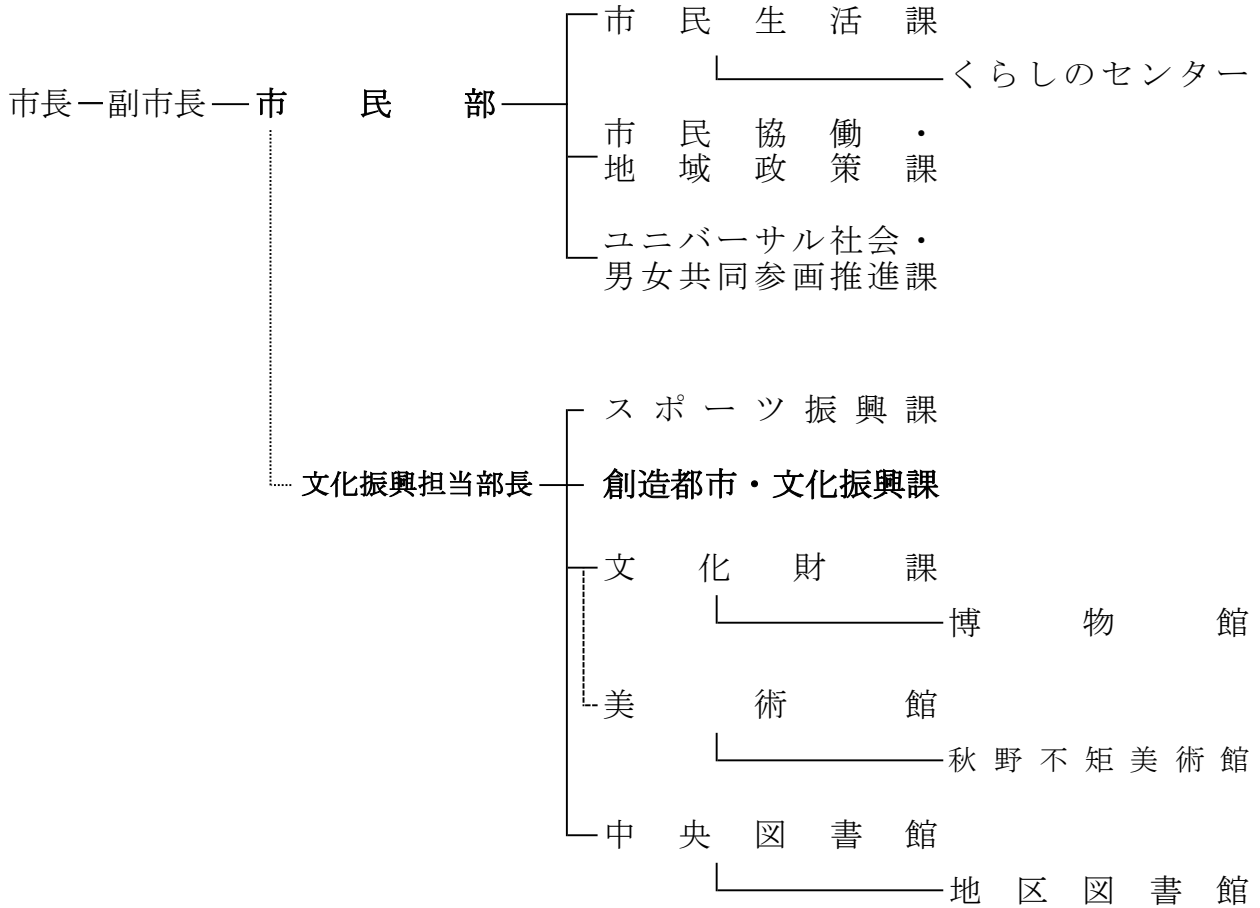
3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

(社会教育委員の委嘱の基準等)

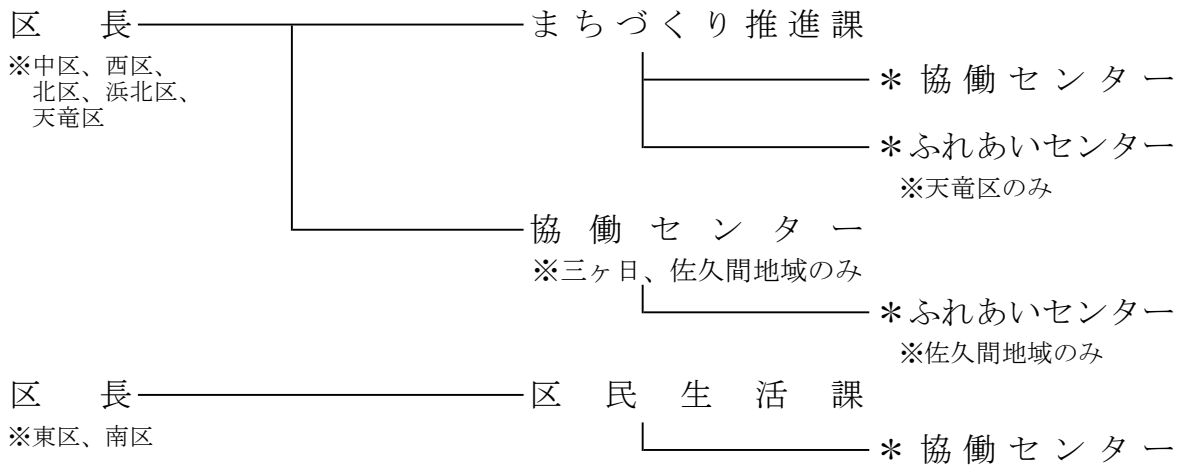
第18条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

市長事務局

<本庁>



<区役所>



*平成25年4月から公民館等が協働センター、ふれあいセンターに再編されました。

平成29年度 浜松市社会教育(生涯学習)主要事業の概要

【資料3】

主要事業	予算額 (単位:千円)	内 容
【生涯学習費】	822,973	全体予算額
生涯学習機会提供事業	73,964	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の啓発と普及のための各種講座の開催 ・生涯学習により得たスキルを発表する場として芸術祭、文化祭の開催 ・ユネスコの理念を広く啓発するための事業の開催 ・産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座の開催
生涯学習施設運営事業	729,730	<ul style="list-style-type: none"> ・文化会館等全14館の管理運営 ・修繕等施設の維持管理を目的とした整備事業
生涯学習運営事業	9,398	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修へ参加、他都市や外郭団体との連携・情報交換を行い、生涯学習の推進を目的とした事業 等
【文化財費】	337,587	全体予算額
文化財調査顕彰事業	3,944	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史街道の調査 ・指定文化財や指定候補物件の調査
文化財保護継承事業	46,592	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の開催 ・文化財の保護、伝承等を目的とした環境整備、普及啓発等 ・カモシカ食害対策事業 ・文化財の保護、伝承等を目的とした補助金の交付
文化財施設公開事業	43,568	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財施設(中村家住宅、舞坂宿脇本陣、鈴木家住宅、田代家住宅、賀茂真淵記念館等)の維持管理
文化財活用地域連携事業	16,320	<ul style="list-style-type: none"> ・アカウミガメ保護事業 ・地域の文化遺産を結ぶ散策ルートの整備事業 ・無形民俗文化財の保護・活性化事業 ・山城の調査、環境整備、案内看板の整備等 ・速やかな災害復旧を図るための、人材育成事業
埋蔵文化財調査事業	195,447	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財包蔵地の試掘調査 ・埋蔵文化財包蔵地の本発掘調査 ・遺跡出土品等の公開・活用事業 ・遺跡出土品等の公開・活用事業
地域遺産センター維持管理事業	31,164	<ul style="list-style-type: none"> ・地域遺産センターでの展示業務 ・地域遺産センターの維持管理業務
文化財運営事業	552	<ul style="list-style-type: none"> ・各種需用費等

主要事業	予算額 (単位:千円)	内 容
【図書館費】	1,133,427	全体予算額
図書館運営事業	1,133,427	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館7館の管理運営及び16館1分室の指定管理運営事業 ・修繕等施設の維持管理を目的とした整備事業 ・図書館サービスシステム維持管理事業 ・図書館の閲覧、貸出、保存用図書等の資料収集事業 ・電子図書館事業(歴史資料のデジタルアーカイブ化を行う) ・調べ学習応援事業(地域コンクールを開催し、子どもの学習意欲を高める仕組みづくりをする) ・図書館サービス事業(読書の普及・啓発を図るため、各種講座、研修会、講演会等を開催する) ・ブックスタート事業(絵本の読み聞かせやわらべ歌等の実演をし、参加者にお勧めの絵本を1冊プレゼントする)
【博物館費】	106,307	全体予算額
博物館運営事業	52,802	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館・資料館等、全8施設の管理運営 ・修繕等、施設の維持管理を目的とした整備事業 ・博物館本館雨水排水施設改修工事
遺跡公園運営事業	31,426	<ul style="list-style-type: none"> ・蜷塚・伊場遺跡公園の管理運営 ・修繕等、施設の維持管理を目的とした整備事業 ・蜷塚遺跡復元家屋屋根葺替工事
博物館展示会開催事業	12,168	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展「遠州報国隊」の開催 博物館が所蔵しない歴史資料や文化財を各地から借用し、市民に供するための展示の開催 ・博物館が所蔵する歴史資料や市内の文化財を中心に常設展を補完するテーマ展や市民協働展などの開催 ・博物館が所蔵する歴史資料を巡回展示し、地域の独自文化と広域性を比較するための展示の開催
学習会開催等連携事業	5,382	<ul style="list-style-type: none"> ・「まが玉づくり」「大昔サバイバルツアー」「月見団子作り」「火おこし」「古代のアクセサリー作り」等の体験講座を開催 ・「わら葺き屋根の下で聞く昔ばなし」(旧高山家)を開催(月1回) ・学校移動博物館事業 ・博物館の逸品まちかど陳列事業
博物館資料調査収集活用事業	4,385	<ul style="list-style-type: none"> ・市の歴史資料の調査、収集 ・博物館所蔵資料をデータ化し、ネット上で公開

平成29年度 浜松市社会教育(生涯学習)主要事業の概要

【資料3】

主要事業	予算額 (単位:千円)	内 容
【美術館費】	54,402	全体予算額
美術館運営事業	24,874	・美術館の管理運営 ・施設の修繕、維持管理等を目的とした整備事業 ・美術資料の収集及び所蔵品の保存・修復等
美術館展覧会開催事業	26,877	・市展を開催 ・企画展として「池口史子展」を開催 ・特別展として「アートたけし展」を開催
新美術館構想策定調査事業	50	・新美術館建設のための調査・研究等
【秋野不矩美術館費】	54,877	全体予算額
秋野不矩美術館管理運営事業	19,274	・秋野不矩美術館の管理運営 ・施設の修繕、維持管理等を目的とした整備事業 ・秋野不矩作品の購入及び資料の収集・修復等
秋野不矩美術館展覧会開催事業	35,603	・秋野不矩美術館の所蔵品を展示する展覧会を開催 ・特別展として「日本画こころの京都」、「浜松市美術館コレクション選」、「創画会70周年記念展」を開催
【次世代育成費】	661	対象事業予算額
家庭教育推進事業	661	・家庭教育推進のための事業
【青少年活動費】	56,417	対象事業予算額
青少年団体等活動助成事業	5,000	・児童の健全育成に努める子ども会等の活動費に対し、補助金を交付
青少年の家運営・整備事業	41,975	・青少年の家の管理運営
天竜自然体験センター運営・整備事業	9,442	・天竜自然体験センター「湖畔の家」の管理運営

第35期社会教育委員会の活動内容

1 委員構成

学識経験者、学校教育、社会教育、家庭教育の関係者で構成し、学識経験者、学校教育関係者、社会教育関係者として各関係機関から選出の3名と各区より選出の7名、合わせて10名で構成されています。

2 任期

平成29年4月1日～平成31年3月31日の2年

3 主な活動内容

- (1) 本市の生涯学習推進の方向性並びに取組内容等全体に対する意見、提言
- (2) 浜松市生涯学習推進大綱の推進状況の確認
- (3) 大綱実現に向けた取組についての協議

4 第34期社会教育委員会の開催実績（参考）

《平成27年度》

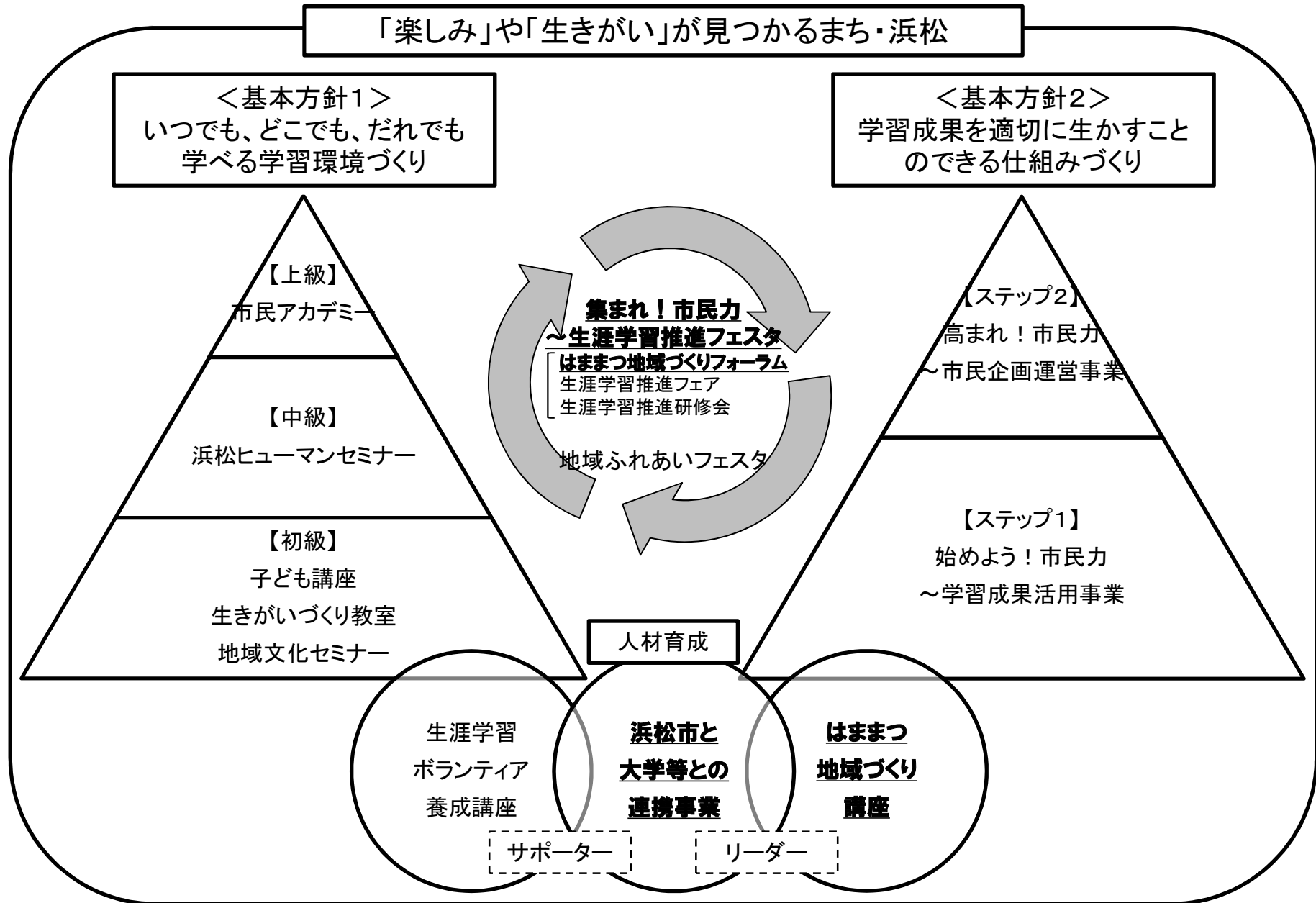
回	開催日	主な内容
1	平成27年 6月3日(水)	浜松市の生涯学習の基本方向 平成27年度の主要事業等について 第34期社会教育委員会の活動内容について
2	7月27日(月)	平成26年度の生涯学習事業報告と平成27年度の生涯学習事業計画について
3	10月7日(水)	大綱を踏まえた具体施策について 関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会分科会事例発表の検討
4	平成28年 3月22日(火)	大綱を踏まえた取組の実績報告 第34期社会教育委員会これからの活動 社会教育関係団体の補助金について

《平成28年度》

回	開催日	主な内容
1	平成28年 6月17日(金)	平成28年度の主要事業等について 平成27年度の生涯学習事業報告と平成28年度の生涯学習事業計画について
2	8月24日(水)	テーマに沿った協議 「協働センター等における生涯学習による地域づくりの人材(人財)育成」 ・生涯学習の推進による人材育成の在り方 ・人材育成に係る課題への取り組みに向けて
3	10月5日(水)	テーマに沿った協議 ・人材育成に係る事業見直しの方向性について ・人材育成に係る事業の具体案の検討
4	平成29年 3月22日(水)	第34期社会教育委員会の活動実績について 平成28年度事業の実績 平成29年度事業に向けて 社会教育関係団体の補助金について

平成２９年度浜松市社会教育委員会開催スケジュール（案）

No.	月・日	会議内容
1	平成２９年 6月8日（木）	【第１回社会教育委員会】 <ul style="list-style-type: none"> ■ 教育長挨拶 ■ 正・副委員長の選出 ■ 市の社会教育全体の概要 （行政組織、主要事業計画） ■ 浜松市の生涯学習の基本方向 ■ 第３５期社会教育委員会 （活動内容、スケジュール等）
2	8月4日（金）	【第２回社会教育委員会】 <ul style="list-style-type: none"> ■ 平成２８年度生涯学習事業報告 ■ 平成２９年度の生涯学習事業計画
3	10月	【第３回社会教育委員会】 <ul style="list-style-type: none"> ■ 大綱を踏まえた具体施策について ■ テーマに沿った協議
	11月16日（木） 17日（金）	【第４８回関東甲信越静社会教育研究大会】 ※ 静岡大会（沼津市で開催）
4	平成３０年 3月上旬～中旬	【第４回社会教育委員会】 <ul style="list-style-type: none"> ■ 平成２９年度事業の報告 ■ テーマに沿った協議 ■ 平成３０年度社会教育関係団体への補助金交付について



始めよう！市民力～学習成果活用事業 高まれ！市民力～市民企画運営事業

ステップ1 「始めよう！市民力～学習成果活用事業」

1 目的

生涯学習施設を拠点として、市民が課題解決に向かって主体的に学習活動を展開する場や、日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を提供することにより、市民協働への転換を進めるとともに、学びの成果を自立的・持続的に生かす仕組みの構築を図る。これにより、行政主導（学習機会の提供）から 市民主導（学習成果の活用）への展開を図る。

2 内容

市民（団体及び個人）は、講座や教室の開催を市（各施設）に提案し、市の助言や協力を得ながら講座等の企画・運営を行う。

市は、講座等の企画・運営に係る事務を行うと共に、市民と協力して PR 活動を行う。事業の実施を通して、市民が市民活動団体としてステップアップできるように支援する。

ステップ2 「高まれ！市民力～市民企画運営事業」

1 目的

「浜松市生涯学習推進大綱」の基本方向 2「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」に基づき、生涯学習施設における講座等開催事業について、講座等の企画から運営まですべてを市民団体が主体となって実施することにより、行政主導（学習機会の提供）から市民主導（学習成果の活用）への事業の展開を図り、市民主体による講座等の企画・運営形態への転換をより一層進める。

2 内容

市民団体が主体となり、協働センター等生涯学習施設における講座等開催事業について、企画から運営、それらに係る事務までをすべて行う。

市は、講座等の企画や運営に関する助言や、PR 活動への協力（チラシのデザイン・印刷は、市民団体）を行い、市民主導での講座等開催事業を実施する仕組みづくりを進める。

各事業の比較

	各種講座 (子ども講座等)	始めよう！市民力 ～学習成果活用事業	高まれ！市民力 ～市民企画運営事業
実施方法	直営方式	直営方式	委託方式
講座等の提案・企画・運営	市（各施設）	市民（個人・団体）	市民団体
講座等のPR	市（各施設）	市（各施設）と市民	市民団体（市が協力）
講座等に係る事務	市（各施設）	市（各施設）	市民団体

浜松市と大学等との連携事業～大学生による講座

1 目的

浜松市生涯学習推進大綱に示された「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」の取組として、協働センター等生涯学習施設で行われている講座開催の機会を大学生に提供することにより、市民と大学生が互いに自己の学びを深めるとともに、浜松市と大学が連携・協力して生涯学習の取組を一層推進することを目指す。

2 内容

- ・講座の講師は、大学の学修課程の一環として、学生が行う。
- ・講座内容や開催期間等は、大学と生涯学習施設職員とで協議・調整し、地域の学習ニーズを踏まえ決定する。
- ・チラシ作成費など講座運営上必要な経費は、大学と生涯学習施設で調整し支出する。
- ・講座開催に要する講師謝礼及び会場費は、無料とする。

3 平成29年度の実施計画（案）※大学からの開設希望

大学	担当教員	講座実施施設	対象	講座概要 ※ その他希望
浜 松 学 院 大 学	高久新吾 教授 (継続)		幼児 小学校低学年 ～中学年	<音楽遊び> 「ウキウキおんがく楽校」 音楽の楽しさを学ぶ子ども講座。 (幼児向け、小学生向けの各講座)
	荒井庸子 准教授 (新規)	南部協働センター	子育て中の親 子(幼児)	<子育て支援> 「ばば まま ぼく わたし」 遊びを通して、子どもと大学生、子 どもと親がふれあう、子育て講座。
	光安アパレシダ光江 准教授 (新規)		小学校3年生以 上と保護者	<ブラジル食文化の紹介> 「ブラジル風タピオカサンドを一緒 に作りましょう！」 ブラジル人学生と一緒にブラジル東 北地方のタピオカサンドを作る講 座。
	浦谷淳子 講師 (新規)		小学生	<ことば遊び> 「ことばはかせになろう」 英語や日本語でことば遊びをし、 ことばのおもしろさを発見します。
	津村公博 教授 (新規)		小学生～ 中学生	<国際協力> 「フェアトレードってなに？」 ゲームやアクティビティを通して フェアトレードを学びましょう!
	田中健二教授 浦谷淳子講師 小佐々典靖講師 津村公博教授 (新規)		小学校3年生 以上と保護者	<北遠で採れたそば粉を使ったスイ ーツ作り> 大学生が、浜松市北遠地域で栽培・ 収穫した、そば粉やジャガイモなど を材料に、新たなスイーツ開発をし よう!
	寛有子 講師 (新規)		小学生高学年	<国際理解教育> プログラミングで海外と同時授業 (ICT教育)、小型PC「ラズベリーパ イ」を使って、海外の小学校とア ート作品を共同制作します。
		3歳以上～ 小学校高学年	<夏の図画工作室> 夏休みを利用した造形ワークショップ 及び造形に関する制作支援をし ます。	

常葉大学 (浜松キャンパス)	柴田俊一 准教授 (継続)		子育て中の親子	<p><子育て支援> 「お母さんが元気になるための講座」 保育士志望の大学生による、親子で遊びを通じてコミュニケーションを深め、楽しく子育てをするヒントを学びます。</p>
	平松なをみ 講師 (新規)		幼児 (3~5歳)	<p><音楽遊び> 「コミュニケーションを引き出すワークショップ(リトミック)」 音楽を介して子供同士のコミュニケーションを引き出します。</p>
	村上高康 准教授 (継続)	北浜南部 協働センター	中学生 高校生	<p><セルフケア> 「自分でできる身体のセルフケア」 部活動をしていると、殆どの方が運動してもケア活動はしていません。練習だけでなく、うまく身体を休ませることはとても重要です。今回は刺さない鍼とツボを使って自分で行う方法を講義します。</p>
	林田はるみ 准教授 (継続)		小学生高学年と 保護者	<p><親子で陸上> 「親子でエクササイズ、陸上教室」 かけっこが早くなるためのエクササイズをします。保護者も一緒に体を動かしましょう。</p>
			小学生低学年と 保護者	<p><親子でダンス> 「親子で楽しむダンスレッスン」 音楽のビートにのって気持ちよくかっこよくダンスを楽しみます。保護者も一緒に体を動かしましょう。</p>
	野藤弘幸 准教授 遠藤浩之 講師 (継続)		幼児 (子育て中の親子)	<p><認知と運動> 「チャレンジ 感覚・運動遊び」 作業療法学科の学生が考案した「感覚・運動遊び」を学生がお子さんに提供し、親子で楽しみます。子育ての心配ごとがあれば、教員が応じます。</p>
	松村剛志 講師 (継続)		一般成人	<p><ウォーキング・歩き方> 「WalkingをThinking」 体の仕組みや歩き方の基礎を学び、受講者自身の歩き方の測定結果に基づいて、姿勢や歩き方のコツを考えます。 1回目：講義 2回目：測定 3回目：測定結果のフィードバック</p>
	木村佐枝子 准教授 (新規)		小学生	<p><どろだんご作製> 「びかびかどろだんごをつくろう！」 小学生を対象とした「どろだんご」講座です。どろだんごが光るしくみや色々などろだんごの種類を学び、実際にどろだんごを作成します。</p>
山田雅敏 助教授 (新規)		小学生 中学生	<p><バスケットボール> 「バスケットのファンダメンタルを楽しもう！」 将来、体育教師やスポーツ指導者、スポーツトレーナーを目指す学生(女子バスケットボール部員)と一緒に、楽しみながらバスケットボールのファンダメンタル(基礎・基本)を学びます。</p>	

聖隷クリストファー大学（新規）	俵祐一 准教授 【リハビリテーション学部】		小学校高学年 ～中学生	「自分の体力を調べてみよう！～体の仕組みについて～」 体力測定や運動を通して体の仕組みについて学習する講座。体力測定を運動体験を通して科学的に理解します。体の仕組みを知り、科学的に体力アップを図ります。
			高齢者	「脳トレや体操に取り組んで心も体も元気に！～健康寿命を延ばすには～」 転倒による健康への悪影響について学び、転倒予防のための脳トレや体操を体験する講座。転倒予防と脳トレーニングを実際に体験します。
	泉良太 准教授 【リハビリテーション学部】		子育て中の親子	「遊びながら器用になろう！！～からだ遊びとものづくり～」 親子で一緒に遊びや物作りを通して、上手な身体の使い方を体験する講座。感覚運動と遊びの大切な関係を、体験を通して学びます。
			高齢者	「認知症予防“海馬を鍛えよう！！”」 物忘れと認知症の違いについて学び、脳内にある海馬の鍛え方を体験する講座です。認知機能と認知症の予防について学び、日頃の生活に取り入れられるよう体験します。
	木原ひとみ 助教 【リハビリテーション学部】		こども対象	「親子のコミュニケーションが子どものことばを育てる」 言語聴覚士志望の大学生が、乳幼児のことばの発達とコミュニケーション方法の基礎をわかりやすく実習を交えて講義します。
			高齢者	「健康長寿は食にあり！-食事の安全な摂りかたを知ろう」 肺炎は死因3位、窒息は不慮の事故死1位、転倒の原因は全身の筋力低下です。これらの原因は栄養不良。健康長寿実現の鍵は食です。本講座では、皆さんの飲み込み力を調べ、安全な食べ方を考えます。
	鈴木光男 教授 【社会福祉学部】		幼児～小学生	<造形による遊び> 「トリック・オア・トリート～お化けに変身」 身近なビニール袋や布、クレヨンなどを使って、ハロウィンの仮装衣装を製作し、仮装のお化けになり切って遊ぶことで、ものづくりの価値や楽しさを学ぶ。
	二宮貴之 准教授 【社会福祉学部】		幼児～小学生	<音楽でつなごう友達の輪> クリスマスソングを楽しく歌ったり、リズムに合わせて踊ったりする活動を通して、気持ちをリフレッシュさせ、音楽の楽しさや喜びを感じ、多種多様な人々と繋がり合う。

静岡文化芸術大学	池上重弘 教授 (継続)	北浜南部協働 センター	中学生 (高校生含)	<劇を通じた交流> 「お芝居プロジェクト！」 サークル「ぷちまり」部員による、昔話をもとにお芝居を創り上げていく活動を通して自己表現や人とのかわり方を考える子ども講座。
	エドワード・リッチ 准教授 マーカス・プリンガー 特任講師 (継続)	中部協働センター	小学生	<国際理解(英語)> 「英語で遊ぼう！」 英語を使ったコミュニケーションに親しみ、楽しむ子ども講座。
静岡大学	立岡浩一 教授 (継続)		小学校 中学年～ 高学年	<科学工作> 公認サークル「キッズサイエンスカフェ」による科学の原理を生かした科学工作講座。
				※3施設での開催を希望。(天竜区等山間部での開催も含む。)
浜松医科大学 (新規)	(未定)		(未定)	(未定)

4 実施にあたって

- ・本事業は、要綱をもとに大学との協定締結の上、実施する。
- ・平成29年度は、浜松学院大学、静岡文化芸術大学、常葉大学、静岡大学と継続して実施するとともに、聖隷クリストファー大学及び浜松医科大学と試行的に実施をし、大学側と生涯学習施設側のそれぞれの成果・課題について検証する。
- ・事業実施後、成果報告会(平成30年2月を予定)を開催する。

「はままつ地域づくり講座～あなたも地域をプロデュースしてみませんか」

1 目的

- ・地域づくり活動や生涯学習活動への興味・関心を引き出し、市民の地域参画を促す。
- ・協働センター等生涯学習施設と連携して、生涯学習による地域づくり活動を進めることのできる力（地域プロデュース力※）を育て、**地域リーダーの候補となる人材を育成する。**

※「地域プロデュース力」

- ①地域づくり活動・生涯学習活動に必要なスキル・ノウハウ
- ②地域課題の解決方法と事例研究




2 内容

本講座（全6回）を「初級編」と「中級編」の2つの内容に分け、地域づくり活動の初心者から経験者までの幅広い層を対象として展開する。

- 「初級編」…講義や事例紹介を通して、地域づくり活動や生涯学習活動による地域課題の解決方法を知る。
- 「中級編」…実技実習やグループワークを中心に、地域づくり活動や生涯学習活動の企画・立案のポイントを学ぶ。



3 平成29年度の実施計画（案） 各回とも土曜日 10:00～12:00

	回	内容	
初級編		○開講式、オリエンテーション	
	①	地域課題を知るための講義①「健康・スポーツ」	講師の話から、地域課題やそれを解決するための取組事例について講義形式で学ぶ。（講義のテーマは一例） 講義の後には、参加者同士の感想交流や意見交換の場を設ける。
	②	地域課題を知るための講義②「子育て」	
③	地域課題を知るための講義③「伝統・文化の継承」		
中級編		 ステップアップ	
	④	講座を企画してみよう①（事例研究と企画書の作り方）	講座の企画書を完成させることを目標に、講座等の企画や広報、運営の仕方等について、グループワークを通して学ぶ。
	⑤	講座を企画してみよう②（企画書の作成）	
	⑥	講座を企画してみよう③（企画書の完成）	
	○閉講式、講座のまとめ		

4 受講後の活動

- ・講座で自らが企画した地域づくり活動の実践（学習成果活用事業など）
- ・地域活動団体（生涯学習インストラクターの会、生涯学習ボランティア等）への加入
- ・各地域の生涯学習施設における自主事業への参画、協力

集まれ！市民力～生涯学習推進フェスタ 「はままつ地域づくりフォーラム」

1 目的

- ・地域づくり活動や生涯学習活動への興味・関心を引き出し、市民の地域参画を促す。
- ・学習者、地域活動者、生涯学習施設職員等のスキルアップ及びネットワークづくり。

2 内容

- ・①講演会、②事例発表、③情報交流会の3つの内容で構成する。
- ・「集まれ！市民力～生涯学習推進フェスタ」として、昨年度まで別会場で行っていた生涯学習ボランティアの会による「生涯学習推進フェア」と同一会場・同日開催とし、多くの市民に、地域づくり活動や生涯学習活動の意義や楽しさを伝える機会とする。

集まれ！市民力～生涯学習推進フェスタ (10:00～17:00)	
生涯学習推進フェア 10:00～15:00 (各生涯学習施設の講座の紹介や実技体験)	
	はままつ地域づくりフォーラム 13:00～17:00 (講演会、事例発表、情報交流会)

3 タイムスケジュール (案)

○日時：平成29年9月10日(日) 13:00～17:00

○会場：クリエート浜松(2階ホール) ※ 生涯学習推進フェアは、1階ふれあい広場、2階アトリエで実施

日 程		内 容
13:00 13:20	開会 (5分) 基調提案 (15分)	・浜松市の生涯学習の取組、方向性
13:20 14:50	講演・質疑応答 (90分) 意欲・意識の高揚	・内容…地域づくり活動及び生涯学習活動への意欲を高め、活動の際に参考となる具体的事例や理論を提供 ・講師…大学教授、内閣府地域活性化伝道師等を想定
15:00 15:40	事例発表 (40分) スキルアップ・フォローアップ	若者の力を生かした生涯学習活動の取り組み ・大学連携事業 ----- 学びの成果の活用のために ・学習成果活用事業の実践者(団体) ・生涯学習講師登録者 ----- 市民の企画運営による地域づくり・生涯学習活動までの道 ・市民企画運営講座の団体及び協働センター職員
15:40 16:00	閉会 (5分) 休憩・会場準備	
16:00 17:00	情報交流会 (60分) ネットワークづくりの支援	【内容】 ・活動発表、参加者同士の自由交流 【参加者】 ・希望する市民、行政関係者、講演会講師、事例発表者 ・運営団体(生涯学習インストラクターの会、生涯学習ボランティア)